【作り方説明書】

ノースリーブプルオーバーの型紙

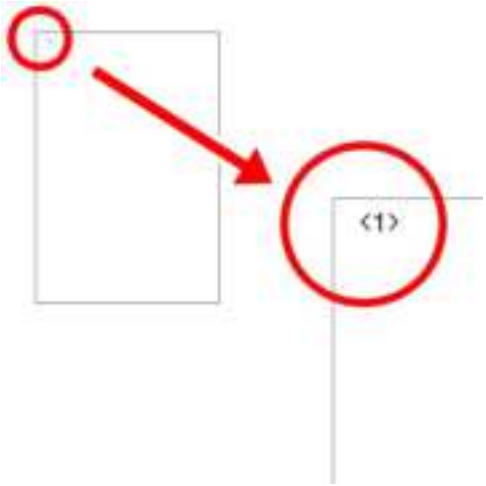
■詳細対応サイズ ・58cm ソフビ　L,LL (スマド未確認)	■難易度 【イージー】/ノーマル/ハード/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.58mm	■用意するもの ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針
■手縫い可否 OK	■布に書き写すパーツリスト ①身頃　１枚→そのまま１枚 ②見返し　１枚→　　〃 合計：２枚　のパーツで構成

■必要な布量参考数値

01. 型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載
※①～④の右図は全型紙共通で 使用しています。
型紙の種類によって貼り合わせる
枚数、数字は違います。
枚数、貼り合わせ数字については
各型紙をご覧ください。

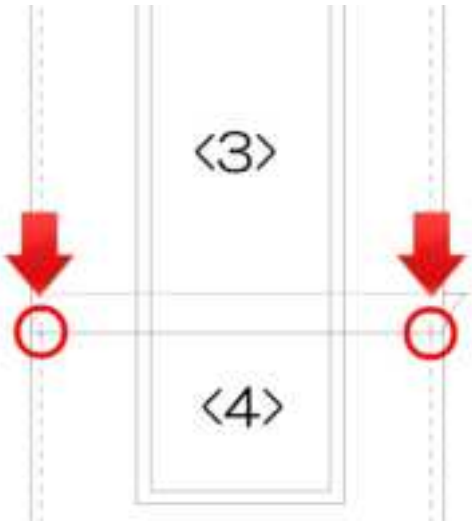


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。

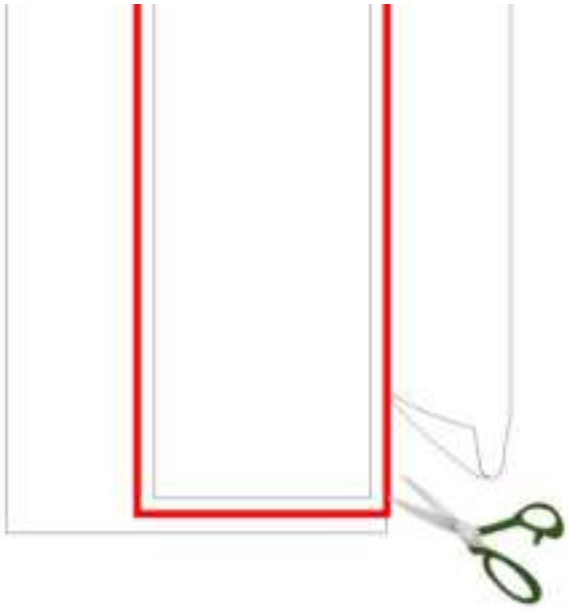
③　点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

④　<5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



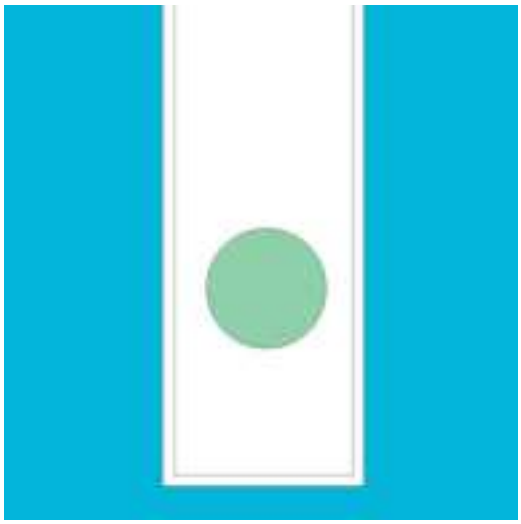
02. 型紙を切り取る。

02～07 の右図は全型紙共通で使用しています。



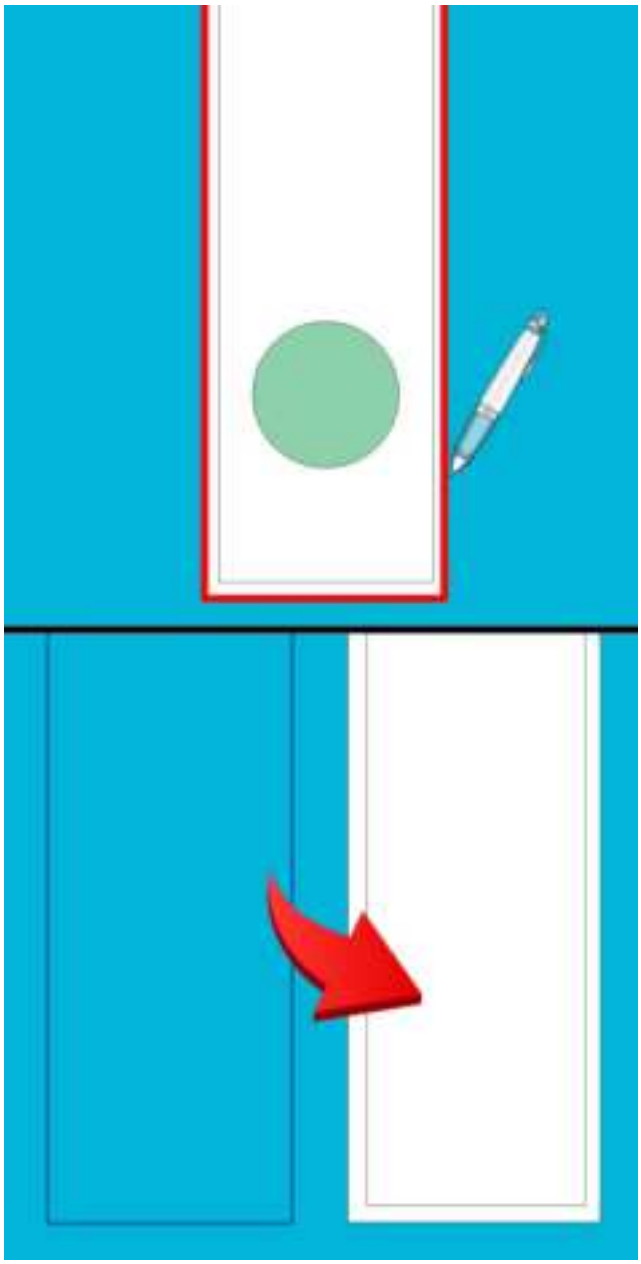
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。

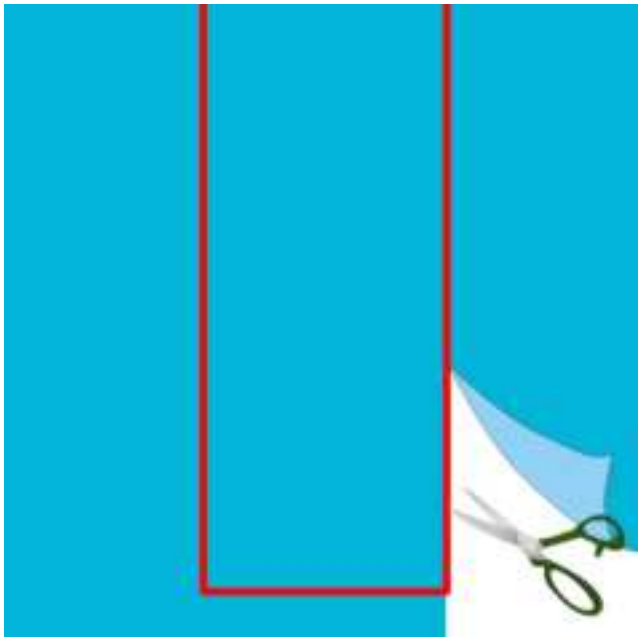


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー　水性チャコペン

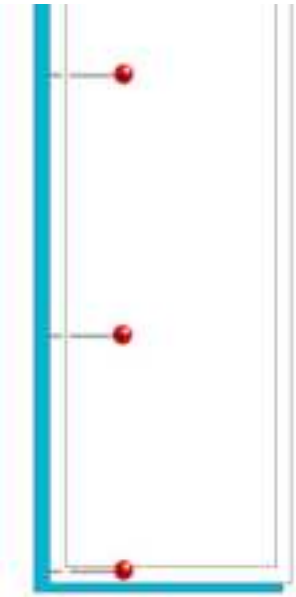


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。



07. “切りじつけ”をする。(①～⑧)

① しつけ糸を針に通し、糸が２本になる様にする。
〔玉止めはしない。

② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

A. 型紙から刺す

B. 布を刺す

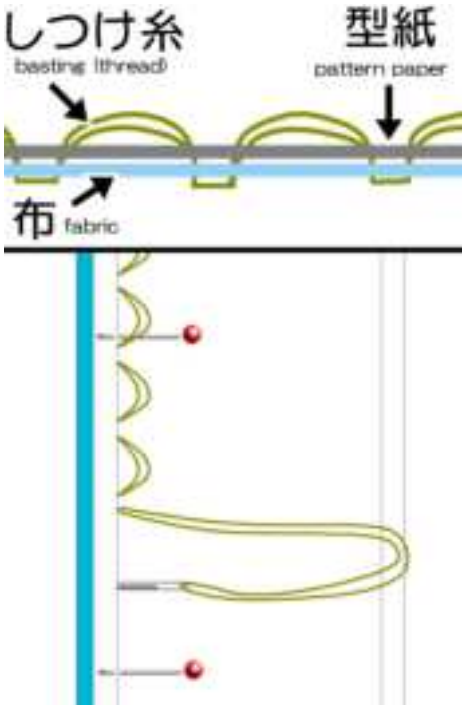
C. 0.3cm 程度すくうように縫う

D. 型紙を刺す

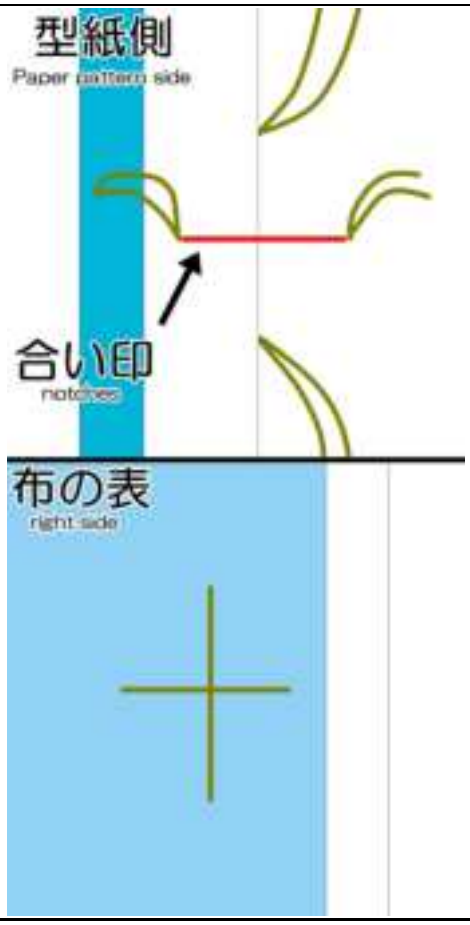
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。



③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④　上側のたるませた糸を切る。	
⑤　まち針を抜く。	
⑥　糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。	
⑦　長い糸は 3mm 程度に切る。 糸を抜き取らない様に注意。	

⑧　しつけ糸が抜けない様に、アイロンか
指で糸を寝かせる。

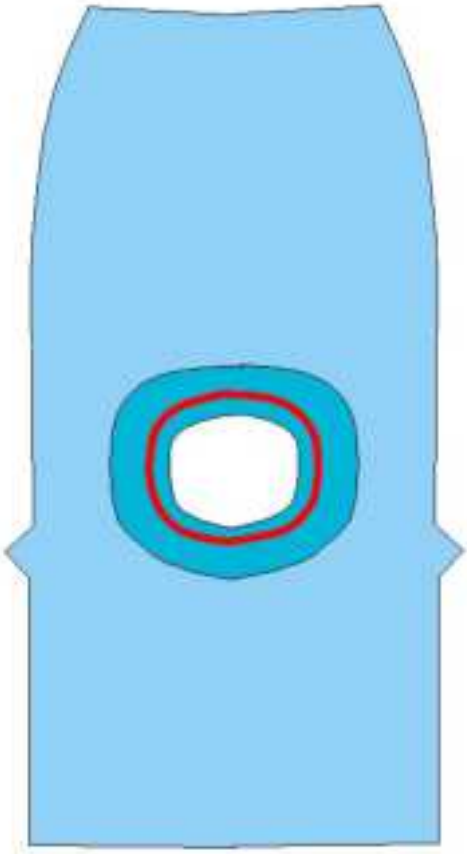
08.　ミシンの針と糸をニット用に替える。

09.　見返しにロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。

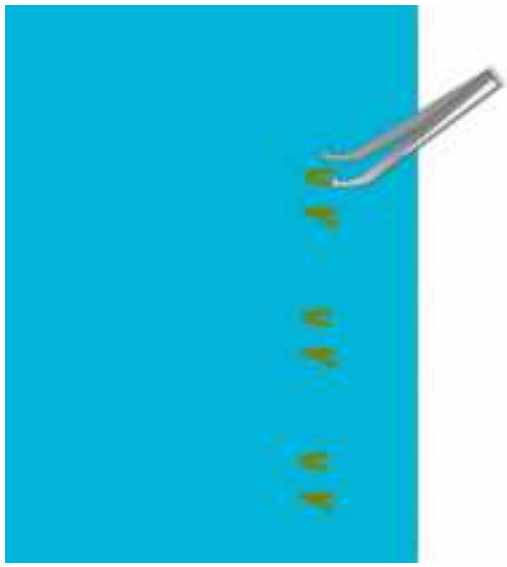
10. 身頃と見返しを合わせて縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

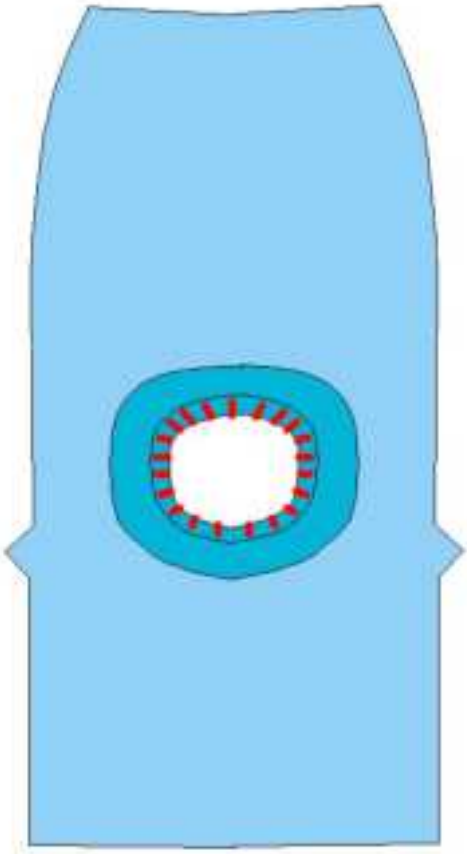


11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

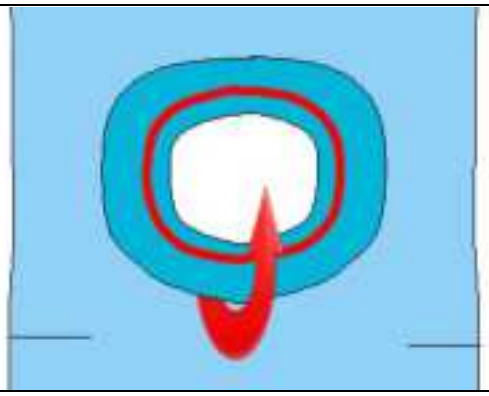
しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。

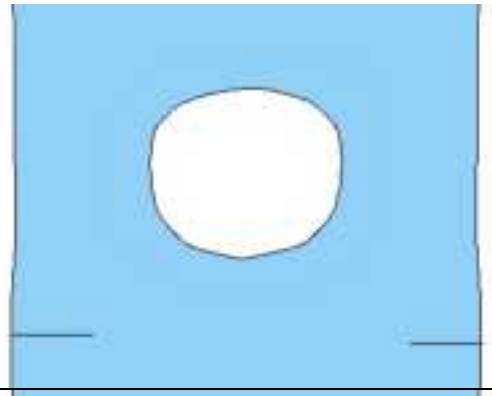


12. カーブに切り込みを入れる。

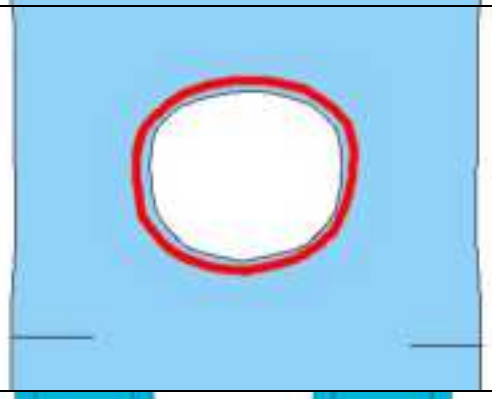


13. 見返しを折り返す。



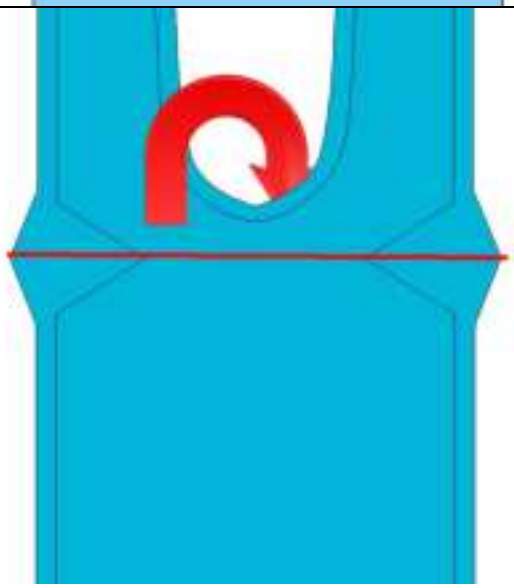


14. 縁を縫う

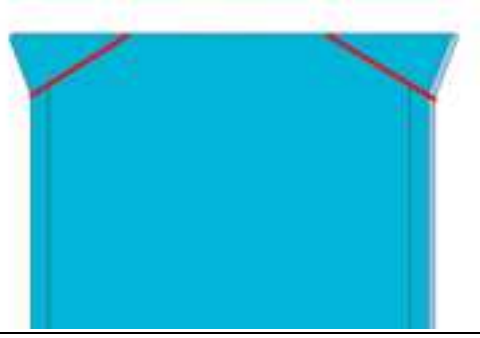


15. 前側の　＞　＜　(ダーツ)を、
表が内側になる様に真ん中で折る。

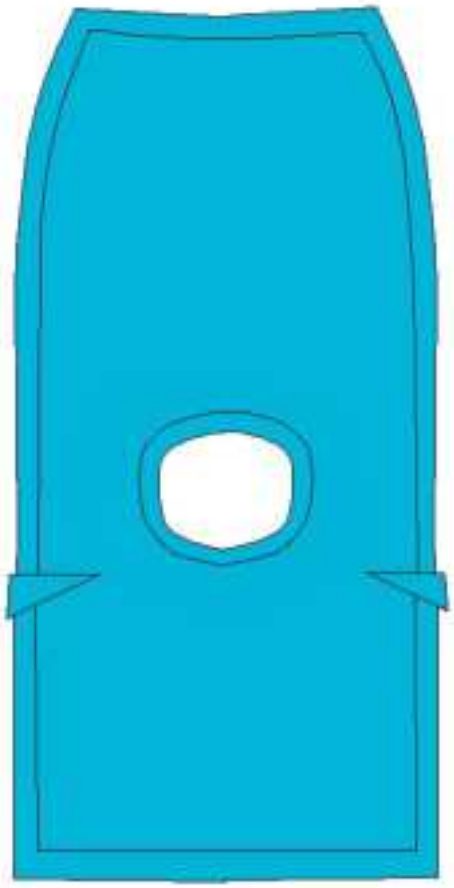
ダーツ：生地一部を三角形に縫い、
平面から立体にする方法。



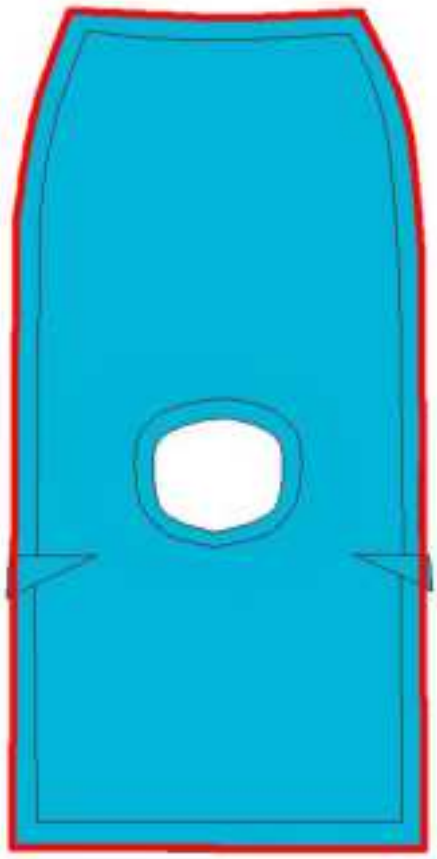
16. ／　＼　斜めの部分を縫う。



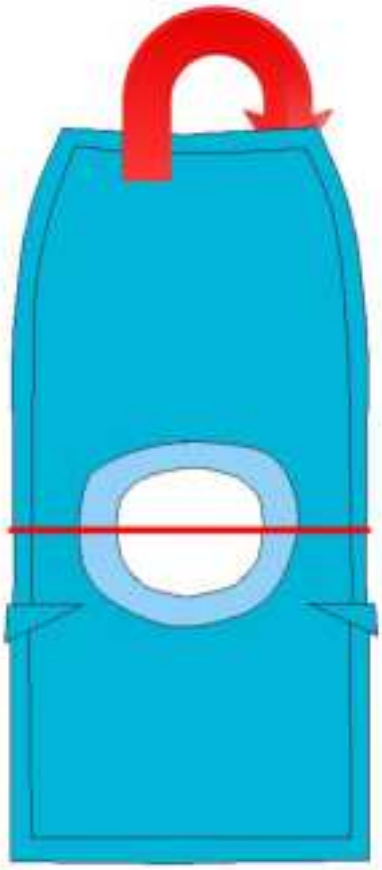
17. 身頃を広げる。
　　16 で縫った場所は下へ倒す。



18. 身頃にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

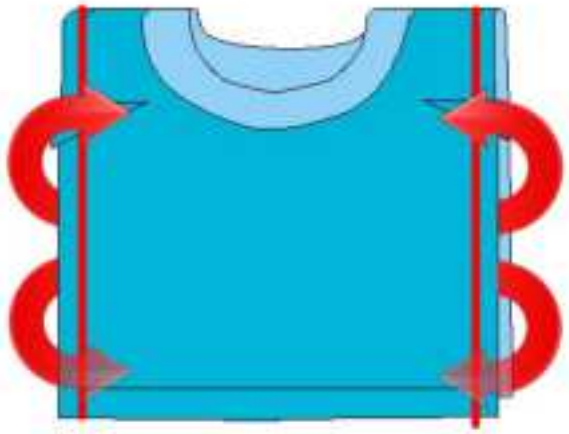


19. 表が内側になる様に、身頃を半分に折る。



20. 裾から開き止まりまでを縫う。

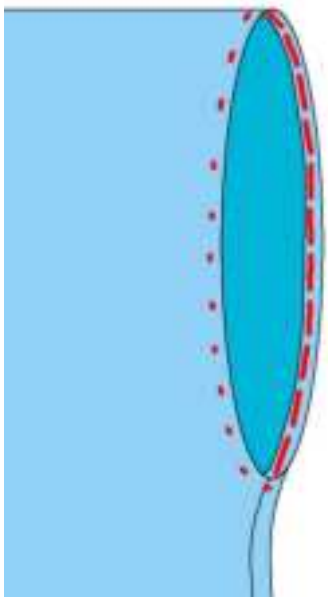
21. 縫い代を折ってアイロンを掛ける。

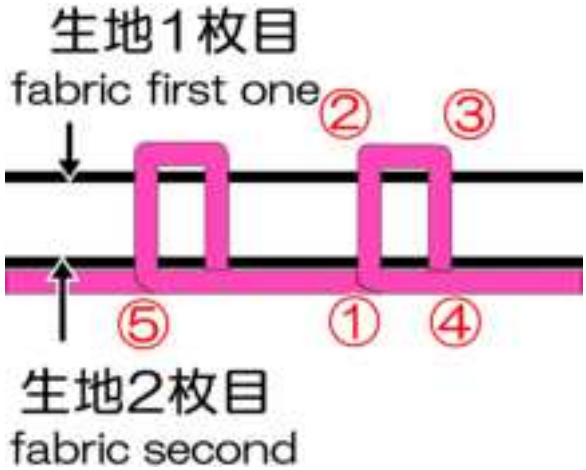


22. 袖口を”星止め”で縫う。

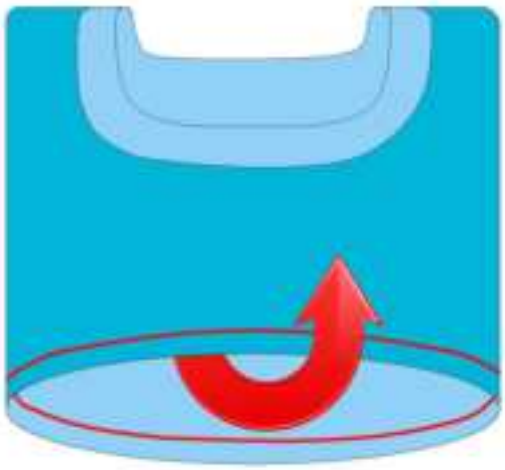
① 2 枚目(縫い代)から針を刺す。
② 1 枚目(表布)に針を出す。
③ 1mm 程戻って針を刺す。
④ 2 枚目に針を刺し、6mm 程進む。
⑤ 2 枚目に針を刺す。
⑥ ①～⑤を繰り返す。

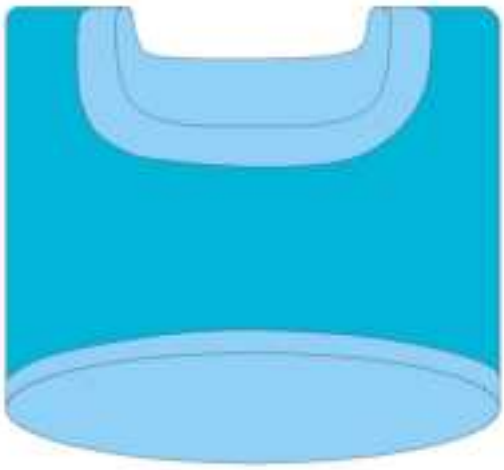
針は布に対して垂直に刺すと、
終盤で布の長さが違う等のトラブルが起き辛い。



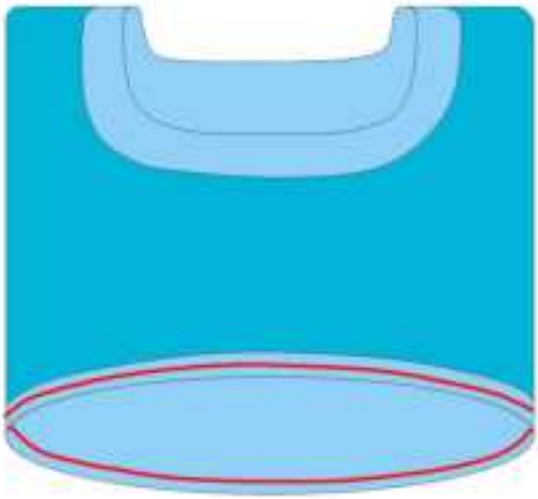


23. 裾を折る。





24. 縁を縫う。



お疲れ様でした！